

# ばれいしょ

春から初夏にかけて収穫される、掘りたてで水分が多くみずみずしい新じゃがいも。新鮮なものは手で触れるだけで皮がはがれるほどです。

## 3月の農作業

平成15年発行：  
JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

**作型** 種いもは毎年更新する。(自家用種いもはウイルス病にかかっている場合がある)。マルチ栽培すると早取りが可能となる。連作を嫌うので、ナス科(なす、トマト、ピーマン等)を2~3年作っていない場所を選ぶ。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 植 え			△△	—			■	■					メークイン・男爵・キタアカリ

△：植え付け ■：収穫

### 畑の準備・播種

土づくり a当たり	
堆 肥	300kg
セルカ(有機石灰)	5kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- 2条植え 畝幅100~120cm 株間30~40cm (条間40cm 千鳥植え)
- 深さ10cmの溝を掘り、底に元肥を施用後、間土し、いもの切口を下に向けて植える。
- 覆土は種いもの厚さの3倍程度(5~10cm)

**■種いもの準備**  
30~40gの種いもを用いる。60g以上のいもは30~40gとなるよう(芽が全て均等に付くよう)に切り、陰干し乾燥させる。

よい種いもを選ぶ

普通 伸びすぎて消耗 休眠中

### 間引き・追肥・土寄せ

- 草丈10cm頃：肥大促進のために太く大きい芽を2~3本残し、野菜専用肥料4~5kg/aを施用後、土寄せを行う。
- 草丈15~30cm頃：株元に5cmの厚さに土寄せをする。(2回程度)



### 防 除

病虫害名	耕種防除	農薬による防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	ジェイエース粒剤 0.3~0.6kg/a 植付時作条散布 1回
テントウムシダマシ	捕殺を行う	モスピラン顆粒水溶剤 2,000~4,000倍 7日前 3回
ヨトウムシ	早期発見し、分散前に捕殺する	ジェイエース水溶剤 1,000倍 30日前 2回

### 収 穫

- 地上部が枯れるまでいもは肥大し続ける。
- 3~4日晴天が続き、土が乾いている時に傷付けないように掘る。(新しいいもは皮が弱いので、丁寧に掘り取る。)

**■貯蔵**  
収穫したら積み上げないようして日陰で乾かす

直射日光に当たると緑化し品質を損ねる

裏面はだいこんを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.299 平成28年3月16日発行

# だいこん

春の七草の一つ「すずしろ」は大根のこと。一年を通して収穫される大根ですが、初夏から夏にかけて収穫されるものは、辛みが強くなります。

## 3月の農作業

平成15年発行：  
JAハリマ「活き活き健康野菜づくり」より

**作型** 春まきは、生育初期に低温にあうと、とう立ちしやすくなるので、ビニールトンネル栽培が良い。播種時期に合わせた品種を選ぶ。だいこんは、十耕といわれるように畑を深く耕し、土を細かく砕くことが大切。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春 ま き			○	○	—								おしん(青首)・天寶

○：種まき ■：収穫

### 畑の準備・播種

土づくり a当たり	
堆 肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
油 粕	15kg
畝立時施用	

- 1条まき：畝幅60cm 株間25~30cm
- 2条まき：畝幅120cm 株間25~30cm(条間30cm)
- 深さ1~2cmのまき穴に3~5粒点まきする。(重ならないように) 覆土後、軽く鎮圧する。

### 間引き・追肥・土寄せ

本葉1枚で3本立て

本葉3~4枚で2本立て(秋まきのみ)

本葉6~7枚

第1回追肥 第2回追肥 第3回追肥

追肥は、間引き毎に野菜専用肥料4kg/aを株元に施し、土寄せする。

### 防 除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
アオムシ コナガ	幼虫の捕殺を行う 防除ネットで覆う	ジェイエース粒剤 0.3~0.4kg/a 播種前作条散布 1回 トレボン乳剤 1,000~2,000倍 21日前まで 3回
キスジノミハムシ ダイコンサルハムシ	早まきを避ける	モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 14日前まで 1回

### 収 穫

- 春まきはトンネル栽培で80~100日を目安とする
- 取り遅れはす入りの原因となる。

す入り

す入りしにくい品種  
・耐病総太り  
・YRくらま

葉のつけ根を切って見て、断面に、す入りしているものは根もす入りしている。

1/2~1/3 切る

土寄せ

### 貯 蔵

- 株元が隠れるくらい厚く土寄せしておく。
- 株元が隠れるよう、モミガラをかけておく。

裏面はばれいしょを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.299 平成28年3月16日発行